

2011年度 研究助成テーマ一覧

分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属	研究テーマ	助成 金額	研究 期間
大気	1	一般	忽那 周三	(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門	代替フロンの加水分解反応速度再評価と省エネルギー処理システムの提案	1,500	継続 2/2
	2	一般	坪内 直人	北海道大学 大学院工学研究院	石炭利用時のフッ化水素の発生挙動の解明と安価な高温ガス精製法の確立	1,500	継続 2/3
	3	一般	田中 茂	慶應義塾大学 理工学部	PM2.5 中化学イオン成分濃度と Acidity(H+)の自動連続測定装置の開発	1,500	1/2
	4	若手	中山 智喜	名古屋大学 太陽地球環境研究所	産業起源の揮発性有機化合物から生成する二次粒子の光学特性の評価	1,000	1/1
	5	若手	江波 進一	京都大学 次世代研究者育成センター	PM2.5 が人体に及ぼす悪影響の分子レベルでの解明	1,000	1/2
	6	若手	上田 紗也子	東京理科大学 理学部	海洋大気エアロゾル粒子:人為起源物質の輸送と海洋起源物質の応答	992	1/1
	7	一般	反町 篤行	弘前大学 被ばく医療総合研究所	東アジアにおける超微小粒子の物質循環に関する研究	1,500	継続 2/2
	8	一般	佐藤 啓市	(財)日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター	東アジア地域における黒色炭素粒子の湿性沈着量及び大気物質収支の解明	1,500	1/2
	9	一般	谷 晃	静岡県立大学 環境科学研究所	SPM 生成に関与する反応性 VOC の植物による放出・吸収能力の評価と、反応性 VOC 濃度低減を目指した緑化樹木の選択	1,500	継続 2/2
	10	一般	成瀬 一郎	名古屋大学 大学院工学研究科	還元雰囲気における微量金属成分の濃縮機構解明と炉内捕捉技術の開発	1,500	継続 2/2
	11	一般	宇都宮 聡	九州大学 大学院理学研究院	集束イオンビームと原子分解能電子顕微鏡を用いた Ni 含有粒子のピンポイント精密解析	1,500	1/2
	12	若手	児玉谷 仁	鹿児島大学 大学院理工学研究科	有機水銀の選択的高感度分析システムの開発	1,000	継続 2/2
	13	一般	川田 邦明	新潟薬科大学 応用生命科学部	鉄担持活性炭を用いた有機ハロゲン化合物の吸着分解複合処理	1,200	継続 2/3
	14	一般	吉永 淳	東京大学 大学院 新領域創成科学研究科	大気汚染重金属への曝露による小児の健康リスク評価	1,500	1/3
水質	15	一般	西村 文武	京都大学 大学院工学研究科	オゾン間欠ばつ気型生物学的反応器による生物難分解性・生物活性阻害物質含有廃水の効率的処理	1,500	継続 2/3
	16	一般	宗林 由樹	京都大学 化学研究所	海水中重金属の生態・生体影響評価を可能とする自動濃縮分離装置の開発とその海洋観測への適用	1,500	1/2

水質	17	一般	内藤 航	(独)産業技術総合研究所 安全科学研究部門	生物利用性を考慮した重金属の生態リスクの 効率的手法の確立	1,500	1/2
	18	一般	井伊 博行	和歌山大学 システム工学部	高濃度の亜鉛を含む鉱山酸性排水の海辺生 物への影響評価	1,500	継続 2/2
	19	一般	中島 典之	東京大学 環境安全研究センター	餌生物中重金属による底生生物への毒性影 響の評価	1,500	1/2
	20	一般	谷口 善仁	慶應義塾大学 医学部衛生学公衆衛生学教 室	メタロチオネイン欠損メダカと重金属無毒化の 機構	1,500	継続 2/2
	21	若 手	三上 貴司	鶴岡工業高等専門学校 物質工学科	晶析工学を基軸とした資源循環型重金属イオ ン回収プロセスの開発	1,000	継続 2/2
	22	一般	渋川 雅美	埼玉大学 大学院理工学研究科	水性二相抽出を用いる土壌中の微量重金属 元素のオンサイト高感度簡易計測法の開発	1,500	1/2
	23	一般	今坂 藤太 郎	九州大学 大学院工学研究院	土壌中に存在する環境汚染物質の網羅的分 析法の研究	1,500	継 続 2/3
	24	一般	森 勝伸	群馬大学 大学院工学研究科	土壌中の重金属含有量及び化学形態分析に 対する土壌分析装置の開発と植物の成長に 及ぼす重金属の挙動解明への応用	1,500	1/2
	25	一般	厚井 晶子	広島大学 大学院生物圏科学研究科	天然の赤錆「褐鉄鉱」および鋼滓を利用したク エン酸鉄による環境改善	1,500	1/2
	26	若 手	小林 孝行	茨城工業高等専門学校 物質工学科	腐植酸寒天培地による土壌 PAH のバイオア ッセイ法の開発とこれを用いた PAH の生物毒 性に及ぼす腐植酸の影響解明	1,000	1/2
	27	一般	前島 正義	名古屋大学 大学院生命農学研究科	亜鉛の植物への集積機構解明と土壌改善の 応用展開	1,500	継続 2/3
	28	若 手	鈴木 祐麻	山口大学 大学院理工学研究科	鉄粉を還元剤として用いた動電型反応性バリ アシステムによる硝酸イオンの還元とその生 成物の回収	1,000	1/1
	29	一般	池本 良子	金沢大学 理工研究域環境デザイン学系	生物ろ床による有機性排水の嫌氣的脱窒法 の開発	1,000	継続 3/3
	30	若 手	高橋 利幸	都城工業高等専門学校 物質工学科	新規アンモニア性窒素除去装置と廃水を利用 した有用有機物質の合成	1,000	1/1
	31	若 手	見島 伊織	埼玉県環境科学国際センター 水環境担当	生物学的窒素除去における N2O 発生のモデ ル化および制御	1,000	1/2
	32	若 手	寺田 昭彦	東京農工大学 大学院工学研究院	亜酸化窒素放出削減を実現する低コスト・省 エネルギー型排水処理技術の基盤構築	1,000	1/2
33	一般	大木 淳之	北海道大学 大学院水産科学研究院	沿岸海域におけるトリハロメタンのモニタリ ング	1,500	1/3	
34	一般	玉置 仁	石巻専修大学 理工学部	津波により被害を受けた三陸沿岸の浅海域生 態系の現状とその回復	1,488	1/2	

副産物	35	一般	綾野 克紀	岡山大学 大学院環境学研究科	高炉スラグを活用した耐硫酸性コンクリートの製造技術に関する研究	1,500	継続 2/2
	36	若手	橋本 勝文	北海道大学 大学院工学研究院	凍害環境下における高炉セメントコンクリートの塩分浸透性状	1,000	1/1
	37	一般	坂井 悦郎	東京工業大学 大学院理工学研究科	転炉スラグを用いたセメント系材料の新しい合成法と既存技術の統合化	1,500	継続 2/2
	38	一般	三宅 通博	岡山大学 大学院環境学研究科	鉄鋼スラグの結晶化過程を活用した新規水質浄化材料の先駆的開発	1,500	1/2
	39	一般	和嶋 隆昌	秋田大学 大学院工学資源学研究科	鉄鋼スラグを用いた休廃止鉱山からの酸性鉱廃水抑制技術の開発	1,500	1/2
	40	若手	菊本 統	名古屋工業大学 大学院	地盤材料としての合理的活用に向けた鉄鋼スラグの構成モデルの開発	1,000	継続 2/2
	41	一般	米田 稔	京都大学 大学院工学研究科	鉄鋼スラグ製品のリスク評価とリスク低減化手法の開発	1,500	継続 2/2
	42	一般	佐藤 努	北海道大学 大学院工学研究院	様々な利用環境における鉄鋼スラグの長期変質挙動予測モデルの開発	1,500	継続 2/2
	43	一般	岡本 峰雄	東京海洋大学 海洋科学部	スラグ製着床具を用いた藻場再生技術の開発研究	1,500	1/3
	44	一般	山本 光夫	東京大学 教養学部	鉄鋼スラグと腐植物質による藻場再生技術の効果継続性と環境影響評価	1,500	継続 2/3
	45	一般	高橋 美穂	東京海洋大学 海洋科学部	鉄鋼スラグの海水中でのケイ素・鉄の化学種分析による環境への影響と資化性の検討	1,000	継続 3/3
	46	若手	井口 晃徳	新潟薬科大学 応用生命科学部	ファージディスプレイペプチド法を利用した特定微生物集積化による新規有用資源回収技術の開発	950	1/1
	47	一般	入谷 英司	名古屋大学 大学院工学研究科	可逆凝集を用いたステップ超高压圧搾による鉄鋼スラッジの高速減量化技術の開発	1,000	継続 3/3
地球環境	48	一般	有山 達郎	東北大学 多元物質科学研究所	3元系構造の機能性塊成物による低炭素高炉用高速還元体の創製	1,500	継続 2/2
	49	一般	植田 滋	東北大学 多元物質科学研究所	粒子法シミュレーションによる低炭素高炉操業のための炉下部通気改善	1,500	1/2
	50	一般	林 昭二	名古屋工業大学 大学院ながれ領域	多量水素利用型低炭素高炉製鉄プロセスの反応挙動解明と評価	1,500	継続 2/2
	51	若手	福重 真一	大阪大学 大学院工学研究科	グローバル経済における持続可能な鉄鋼資源循環モデルの構築	1,000	継続 2/2
	52	一般	陸田 秀実	広島大学 大学院工学研究院	鉄鋼スラグからの溶出物による二酸化炭素固定化能	1,500	継続 2/2
	53	若手	檀浦 正子	京都大学 大学院農学研究科	炭素安定同位体を用いた樹木による二酸化炭素固定量の実測	1,000	1/1

地球環境	54	若手	宮崎 雄三	北海道大学 低温科学研究所	森林生態系での CO2 固定に対する炭素性微小粒子生成への応答と制御要因の解明	1,000	1/1
	55	一般	松田 祐介	関西学院大学 理工学部	海洋珪藻類の鉄欠乏と鉄施肥への応答機構の解明とその利用	1,000	継続 3/3
	56	若手	阿草 哲郎	愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	途上国の e-waste リサイクル労働者における微量元素曝露とその毒性影響評価	1,000	1/1
エコプロ	57	一般	葛西 栄輝	東北大学 大学院環境科学研究科	鉄鉱石焼結プロセスの環境負荷低減のための脈動通風適用の試み	1,500	1/2